

春日部市と株式会社フープインザフードが 連携協力に関する基本協定を締結しました



令和3年4月24日、市と株式会社フープインザフード（クラブ名:越谷アルファーズ）は、「春日部市と株式会社フープインザフードとの連携協力に関する基本協定」を締結しました。

本協定を機に、今後は、春日部市内におけるスポーツ推進及び地域のより一層の活性化を図ることを目的に、市と株式会社フープインザフードは相互に連携し、バスケットボールをはじめとするスポーツの普及、競技力の向上を図ってまいります。

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（B2リーグ）に所属している越谷アルファーズは、越谷市をホームタウンとし、埼玉県東部地区を拠点に活動するクラブです。現在、B2リーグ東地区第3位につけており、プレーオフへの出場も決定しています。

※クラブ名の由来： α （アルファ）は「はじまり」であり、未知なる力で挑戦し続け、みんなにとっての $+\alpha$ を生み出すクラブでありたいという想いが込められています。

令和3年4月23日・24日には、ウイング・ハット春日部にて、男子プロバスケットボールリーグ戦「越谷アルファーズ対茨城ロボッツ」の試合が開催され、24日の試合前セレモニーにおいて、連携協力に関する基本協定を締結したことを報告しました。

試合には、2日間で計1,300人以上のお客様にご来場いただき、会場は大いに盛り上がりました。試合は、両日とも最後まで手に汗にぎる大接戦。23日は77対75、24日はオーバータイム（延長戦）までもつれ105対103でいずれも越谷アルファーズが勝利しました。



【協定書に署名する様子】



【試合前セレモニーにて協定書を交換】



【市長あいさつ】



【試合の様子】